



徳利



腰折碗

掛け分け

「掛け分け」とは複数の異なる釉薬を施す技法のことです。掛け分けの技法を用いた代表的な焼き物は「織部」で、その中でも青織部は緑色の銅緑釉と白色の長石釉を「掛け分け」したものになります。

しかし、織部の生産以降、この技法を使用した製品は次第に減少し、17世紀前半になると、大川東窯(瑞浪市)や笠原西窯(多治見市)で少量確認されるだけとなります。

掛け分け技法が、美濃窯で再び見られるようになるのは、18世紀の前半頃になってからです。この時期の特徴は、2種類の釉薬を器の上下、または左右で大胆に掛け分け、釉薬は灰釉と鉄釉、もしくは灰釉と錆釉の組み合わせがメインとなります。器種は碗、皿、鉢、花瓶などがあり、碗や瓶類が多く見られます。掛け分けの技法を用いた灰釉の部分に飛びカンナのような回転施工具(模様を付ける道具)を用いた器を銚手(とく)といい、碗や徳利などが作られています。

美濃陶磁歴史館では、12月18日(金)から企画展「江戸の暮らしと美濃焼」を開催します。腰折碗(写真右)や銚徳利(左)など掛け分けを用いた器を展示します。ぜひご覧ください。

プライベートガイド

文化プラザ ☎ 5711



文化プラザ

平成28年1月16日(土) 発売開始

土岐市
初開催!

ミッキーの ミュージックパーティー

さあ、ミッキーと一緒に歌って、踊って、遊ぼう!

日時 平成28年8月20日(土)
開演 ①10:30 ②13:30 ③16:30
開場 各回開演45分前

場所 サンホール

入場料 5,200円〈全席指定〉
グループチケット(4枚セット) 18,000円

※2歳以下で膝上鑑賞するお子さんは、保護者1人につき1人無料。
ただし席が必要な場合は有料



Disney characters and artwork ©Disney, Disney/Pixar characters ©Disney/Pixar

[文化プラザ] 窓口販売 / 9:00~20:30 発売初日は1人4枚まで
電話受付 / 9:00~20:30 (発売初日は12:00~)
※窓口販売で完売の場合、電話受付はありません。

